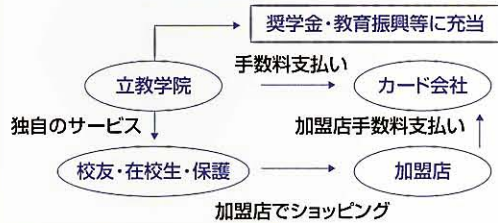


ホームカミングデーは10月26日(日)に決定！今年もぜひ予定ください。

「立教カード」会員募集中!

—いつも心は立教大学とともに—
カード会社からの還元金が奨学金・奨励金となって
学生の教育活動をサポートします



大学独自のサービスをご提供

- 聖路加国際病院付属クリニック1日人間ドッグ割引
- 立教大学図書館の利用
- 六大学野球特別招待証を抽選で
- 「メサイヤ演奏会」チケットをプレゼント
- JTB旅行券を抽選でプレゼント

同封のハガキで資料をご請求ください!!

◆申込書をご請求の方にオリジナル葉プレゼント!
◆立教カードをお申し込みの方に抽選で
10名様に立教グッズをプレゼント!!



立教学院 立教カード事務局
電話 03-3985-2968
URL <http://www.rikkyo.ne.jp/grp/rikkyocard/>
E-mail: rikkyo_card@grp.rikkyo.ne.jp

レディスクラブからのお知らせ

①レディスクラブ総会報告

平成20年度会員総会が、大橋総長、江草校友会会長はじめ、多くのゲストを迎えて、5月24日、西池袋「オテル・ドゥ・キタオカ」にて開催されました。本年は会長改選の年にあたり、大月寿子さん(42歳)が新会長に承認されました。7年間にわたり会長を務めた田森信子さん(43歳)に感謝の花束と記念品が、新会長より手渡されました。

②レディスクラブのバザール

10月26日に行なわれるホームカミングデーのオープニングイベントに今年も参加いたします。校友の皆様、本年も、ワイン・日本酒・手作り菓子・日常雑貨品(新品に限り)の寄付をお願いいたします。当日、お手伝いいただける方、大歓迎です。収益は、レディスクラブ国際交流奨学金基金への積み立てと校友会維持会費への納入にあてられます。

▽献品受付10月16日~22日
▽送り先 〒171-8501 豊島区西池袋3-34-1 立教大学校友会事務局

付「レディスクラブ」バザール用品と必ず明記してください。

▽連絡先 大月寿子(42歳)
Tel 04222220085

③レディスクラブ公開講座

「思春期の子供の世界」
「精神科医の臨床からみえること」
立教大学校友会レディスクラブ
豊島区立男女平等推進センター(エポック10)共催
好評につき、昨年の小児・思春期精神科医の田村先生が父親の立場をふまえて臨床の観点から思春期についてお話しください。

▽日時 11月11日(火)
10時~12時

▽場所 立教大学太刀川記念館3F
▽講師 田村 毅 東京学芸大学教育学部教授
▽会費 無料(定員100名)
▽申込 エポック10
Tel 03-550529501
Fax 03-55061015
Mail A0011400@city.toshima.lg.jp
※保育あり(要予約)

湘南立教会からのお知らせ

立教大学(S37卒~S59卒) サバノ湘南会とその仲間
の美術展

昭33年卒業50周年「親睦会」のお知らせ

校内での記念行事の終了後、左記にて親睦会を行います。

▽日時 10月26日(日)
15時半より

▽場所 東武アパート食堂街(スパイス14階)バンケットホール
▽会費 5千円
▽問合せ 秋山正宏(営)
Tel 03-3993-4732

新宿立教会から第10回総会のお知らせ

新宿立教会は新宿に在住・在勤の立教大学校友会会員を中心とした会で、地域立教会ですが新宿という土地柄企業人の参加が多く、名刺交換やビジネス情報交換なども積極的に行なう会です。総会は2年に1回開催しており、今年が20年目の開催年です。日時、開催場所等は左記の通りです。新宿区在住・在勤以外の方のご参加も歓迎致します。

昭38年卒業の皆様へ

お元気で過ごしてください。今年には卒業45周年に当たります。世話人が集まり同期会開催を左記の様に決めました。

▽日時 10月25日(土)
14時~16時

▽会場 ホテルグランドパレス(千代田区九段下)
▽会費 1万円
会場は飯田橋スクエアやいま話題の神楽坂にも隣接しており、二次会にも便利な場所です。大勢の参加をお待ちしています。後日、該当の方々にはご連絡いたします。

女性限定企画 立教大学OGネットワーク 第3回勉強会のご案内

立教大学OGネットワークは、社会で活躍されているOGの皆様の異業種交流と、女子学生のキャリア形成支援、就職活動支援を目的として、「立教大学OGネットワーク」を組織し勉強会を開催しております。主に20~30代の働く女性を対象としたプログラム内容です。

▽開催日 8月31日(日)
10時~14時

▽内容 「自分らしいキャリアについて考えよう!」
▽講師 弓ひろ氏(株式会社社キヤリアバランス代表取締役)
▽申込み先
ognetwork@grp.rikkyo.ne.jp
まで ①名前 ②卒業年
③出身学部学科をメールしてください。

※締め切りは8月24日(日)
▽問合せ 立教大学キャリアセンター
Tel 03-3985-4756

青春!立教



周防 正行氏 (56)

プロフィール
1956(昭和31)年東京生まれ。立教大学文学部フランス文学科卒。映画監督。主な作品は『ファンシイダンス』(1989年)、『シコふんじゃった。』(1992年)、『Shall we ダンス?』(1996年)、『それでもボクはやってない』(2007年)。「シコふんじゃった。」は本学相撲部がモデルとなった。

よく「青春時代は素晴らしかった」という大人がいますが、僕はそうは思わない。あの頃は何をやらせられたか分からなかった。分かったら常に行っていたらいい。

立教に入社し、偶然にも運賃重彦先生の「映画表現論」という授業に出会った。「あ、あの変な映画批評を書いている先生だ」と思い受講したら、結果として一番熱心に出席する授業になった。運賃先生は「いかに映画を観ていないか」ということを思い知らせてくれた。それまでの僕は、映画に人生の答えを見つけておく、一生懸命、映画を眺めようとして、スクリーンに映っているものを観ていなかったのだ。そして、映画を観るのは哲学的な考へや問題意識を持つていた。特別な才能がなければダメだと思っていた。

あの当時の立教は映画を作るという事に関心を持っていない。自分から進んで、黒沢清監督や万田邦敏監督が立ち上げた映画制作集団「パロディアス・ユニティ」は有名で、僕は憧れを持って入った。立教卒業で

吉に住んでおり、池袋までの間は誘惑があった。バイトをしつつ、好きな授業を受けるか、映画館で過ごすか、という学生生活を送ることになった。

大学4年の時には映画の道に進みたいと考えようになり、2年のときから立教の卒業生の方々がやっていた演劇集団を手伝っていたおかげで、ある役者さんの紹介で高橋伴明監督に会うことができた。「助監督にしてください」と頼み込んだら「いいよ、9月から来て。」と言われた。それが僕の唯一の就職活動だった。ある日、若い女性のエキストラが必要になり、大学の女友達の家に電話したら、「今日は朝から出かけてますよ、卒業式で」と言われた。ああ、今日は卒業式だったのか、とそのとき初めて気がついた。だから僕は後日改めて卒業証書ももらいに大学に行ってきたのである。

現在の、様々な大学で映画にまつわる学部が出来ているが、僕から見ると遅かった。僕から見たら、どのようにならなければならないか、その志を同じくする友と出会うことができるだろう。そのような出会いはとても大事だ。

いつも言っていることだが、学生には高をくくらないで欲しい。これだけの情報化社会、人の話を聞いたりネットで調べたりするだけで、分かったような気がなったりあきらめたりしないであらう。世の中そんなに簡単に分かるものではないし、自分が考えているよりも世界は広く、様々な人がいて、様々な出会いがある。これは僕自身の経験から言えることだ。(談)